



<平均の求め方>

※<sup>かりへいきん</sup>仮平均…平均を求めるために決めた値

(例) 長縄跳び大会の各クラスの結果【仮平均を45回として考える】

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	46	42	50	38	43
仮平均との 違い(回)	+1	-3	+5	-7	-2

① 「仮平均との違い」の平均を求める。

$$\{(+1)+(-3)+(+5)+(-7)+(-2)\} \div 5$$

$$=(-6) \div 5 = -1.2 \text{ (回)} \rightarrow \text{仮平均より1.2回少ない}$$

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求める。

$$45 - 1.2 = 43.8 \text{ (回)} \quad \text{---} \quad \text{(平均) = (仮平均) + (仮平均との違いの平均)}$$

- 下の表は、きぼう中学校で集めているペットボトルキャップの曜日別の集計結果と、仮平均を110個としたときの仮平均との違いを表したものです。

	月	火	水	木	金
個数(個)	115	107	119	102	111
仮平均との 違い(個)	+5	-3	+9	-8	+1

① 仮平均との違いの平均を求めなさい。

② ①から5日間に集めたペットボトルキャップの個数の平均を求めなさい。



<平均の求め方>

※<sup>かりへいきん</sup>仮平均…平均を求めるために決めた値

(例) 長縄跳び大会の各クラスの結果【仮平均を45回として考える】

	A組	B組	C組	D組	E組
回数(回)	46	42	50	38	43
仮平均との 違い(回)	+1	-3	+5	-7	-2

① 「仮平均との違い」の平均を求める。

$$\begin{aligned} & \{(+1)+(-3)+(+5)+(-7)+(-2)\} \div 5 \\ & = (-6) \div 5 = -1.2 \text{ (回)} \rightarrow \text{仮平均より1.2回少ない} \end{aligned}$$

② ①から5クラスの跳べた回数の平均を求める。

$$45 - 1.2 = 43.8 \text{ (回)} \quad \text{---} \quad \text{(平均) = (仮平均) + (仮平均との違いの平均)}$$

- 下の表は、きぼう中学校で集めているペットボトルキャップの曜日別の集計結果と、仮平均を110個としたときの仮平均との違いを表したものです。

	月	火	水	木	金
個数(個)	115	107	119	102	111
仮平均との 違い(個)	+5	-3	+9	-8	+1

① 仮平均との違いの平均を求めなさい。

$$\begin{aligned} & \{(+5)+(-3)+(+9)+(-8)+(+1)\} \div 5 \\ & = (+4) \div 5 \\ & = +0.8 \end{aligned}$$

+0.8個

② ①から5日間に集めたペットボトルキャップの個数の平均を求めなさい。

$$110 + 0.8 = 110.8 \text{ 点}$$

110.8個